

秋葉区防災宣言

悠久の歴史と伝統に培われてきた私たちの「秋葉区」は、昭和38年の豪雪、39年の新潟地震、41年・42年の水害、近年では令和6年の能登半島地震など度重なる自然災害により甚大な被害を受け、尊い人命と貴重な財産を失ってきました。

そのたびに、区民の不屈の精神と深い郷土愛により被害を克服し、今もまた、安全安心で笑顔あふれる、災害に強い我が郷土「秋葉区」づくりを進めています。

この度、令和7年6月16日を「秋葉区防災の日」と制定し、いつかまた来る災害に備えて、自然の猛威と脅威を乗り越えてきた、多くの教訓を胸に、その歴史を忘れることなく時代により移り変わる災害への対処と、地域防災力の向上に努め、積み重ねた英知と教訓を次の世代に引き継いでいきます。

過去の災害に罹災した御霊の鎮魂を祈念し、一人の犠牲者も出さぬよう、区民一人ひとりが自然災害の防災に取り組む続ける先駆けの地となるため、尽力してまいりますことを宣言します。

令和7年6月14日

新潟県新潟市秋葉区

自治協議会 第二部会

部会長 青木貞義